

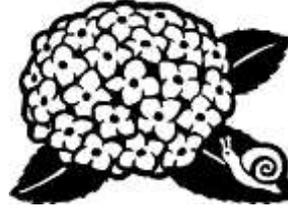


大玄関の床の修理 無事終わりました。

お寺では朝咲いた姫沙羅の花が夕方にははかなく散っていきます。
梅の実もふっくら膨らみ、いよいよ梅雨の季節を迎えました。
体調崩れやすいこの時期、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

先月、五月晴れが続き汗ばむ陽気の中
お寺では大玄関の修繕が行われました。

先月の大智寺だよりでお知らせしましたように、
お寺の大玄関の床がシロアリ被害に遭ったことに伴い
今回大玄関の履物を脱ぐところの床を修繕しました。



よく乾燥させたケヤキは固くてシロアリも食べられないそうなので、
前はマツ材でしたが今回はケヤキ材のみで作りました。
村井建築様、笠井修様、ありがとうございました。
しばらくのよい香りが漂いそうです。
お寺まわりの際にはぜひご覧ください。



汾陽寺 涅槃図 国重要文化財に

いつもお世話になっている武芸川の汾陽寺（ふんようじ）様所蔵の涅槃図を
今回、文化審議会が国重要文化財に指定するよう文部科学大臣に答申しました。

この「絹本著色仏涅槃図」は、平安時代に作成されており
縦 198.7 cm、横 277.0 cmの大型掛け軸で
集まっている動物の数が少なく、
釈迦の横たわる床台の右側を見せるなど、
金や彩色の文様以外にも平安時代の特徴が出ています。
汾陽寺では特別公開が行われます。
どうぞこの機会にご覧ください。

日時：6月4日（土）10:30～正午 特別公開
問い合わせ先：関市役所

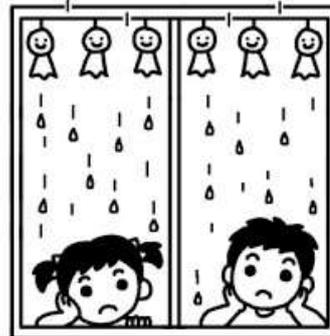
美濃西国三十三観音霊場会 総会がありました

5月21日、美濃西国三十三観音の各寺院にお集まりいただき
大智寺にて理事会及び総会が開かれました。

昨年より霊場会のチラシを観光施設に置いて、
この霊場会の認知度を上げていく工夫をしており、
道の駅（7カ所）や岐阜公園、日本昭和村、岐阜駅観光課などに
今年も引き続きチラシを置いていただけるようお願いすることとなりました。
QRコードを付けたり、チラシをカラー版にするなどの提案もありましたが、
限られた予算内では難しそうです。

朱印ガールなどの若者を呼び込みたい、との声も上がり
充実した話し合いがなされました。

今後ポスターを掲示させてもらえるところを探します。
ご協力いただけたところがあれば教えてください。お願いします。



大智寺だより

平成 28 年水無月
Vol.75

《発行所》

大智寺

岐阜市山県北野
668-1



058-229-1532

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi.ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去のすべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

5月号発行部数
200部

ご愛読

ありがとうございます

妙心寺 新亡供養団参



さて今年も新亡供養の時期がまいりました。
 今回は、平成27年4月1日～平成28年3月31日までに
 亡くなられた方が対象となります。
 期日：平成28年6月30日（木曜日）
 今回は妙心寺での法要・食事を済ました後、清水寺へ参拝します。
 年の瀬の風物詩となっている「今年の漢字」でおなじみですが
 音羽の滝、清水舞台、何度訪れても味わい深いお寺です。
 修学旅行の定番ですが、久しぶりに行くという方も多いのではないのでしょうか。



当日は朝5～6時に大智寺駐車場集合となります。
 申込者が確定した後、一緒のバスに乗り合う他所のお寺との調整で
 集合時間、解散時間が決まります。
 その上で詳細を再度参加者の方々にお伝えします。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
 （実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋）



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
 わからないこと 質問帳 ②④



「袱紗ふくさの使い方

大智寺では副住職晋山記念に袱紗を皆さまに差し上げました。
 慶事弔事どちらの際にも、昔から金封を裸で他家へ持参することはせず、袱紗を使用してきました。
 ただ、慶事弔事とも頻繁にあることではないので、
 袱紗の扱いに戸惑うことも多々あるのではないのでしょうか。

袱紗は単に金封がしわになるのを防ぐだけのものではありません。
 袱紗の色や包み方が慶事弔事で異なるように
 先方の気持ちをおもんばかる心の表れでもあります。
 そのため先方の心中をお察ししつつ、袱紗は心をこめて包みたいものです。



不祝儀の場合の袱紗の包み方は、
 袱紗をダイヤ型に置き、少し右寄りに金封を置き
 袱紗の生地を右側→下側→上側→左側の順に折りたたみます。
 先方に出す時は袱紗から出して必ず正面を相手に向けてお渡しします。



他家へお祝いに伺う際はお盆に品物や金封を置き、袱紗をかけて風呂敷に包み
 そのままご当家へ差し上げます。

ご当家はすぐ別室にて中身を頂戴し、袱紗や風呂敷をお盆に置き、
 「おため」や「おうつり」と呼ばれる懐紙や半紙を添えてお客様にお返しします。
 これは祝儀のあった家から自分の袱紗などを返してもらうことで
 幸せのおすそ分けをいただく意味もあったようです。
 でも不祝儀の場合は、袱紗が戻ることを忌み嫌うため自分で袱紗を開けます。

時代劇などで病床の殿様が紫の鉢巻を額に結んでしますが、
 紫の鉢巻は、病気の鎮痛作用と、邪気を祓うと信じられました。
 また、平安時代には朱色につづき格式の高い色とされ、紫色は「高貴な色」として重宝がられたため、
 袱紗や風呂敷の紫は慶弔両用と位置付けられたようです。
 皆さまに差し上げました紫地の台付き袱紗、どうぞ末永くご活用ください。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31 ページより

②5

「^{ひゃくせんまん}百^{ほこさき}千万の^つ銚^{なや}に 突き悩まされるごとくなり」

もう今月で今年も半分過ぎようとしています。
年始には真っ白であった暦も、いつの間にか手垢が付きヨシてきました。
この半年間、いったい自分は何をやっていたんだろうと、独りで思ったりします。

「過去が咲いている今、未来のつぼみでいっぱいな今」（河井寛次郎）
例えば二十歳の人なら二十年（七千三百日）をどう生きたか、
五十歳の人なら五十年（一万八千二百五十日）をどう生きたか
その生きざまの結果が、「今日ただ今」の花として咲いているということですが、その逆もしかり。
その生きざまの結果が、死を迎えるにあたり百千万もの銚になる、というのが今回の部分です。
自分に与えられた時間が完全に止まる死は、自分の総決算でやり直しはききませんが、
まだ生きている私たちは「未来のつぼみでいっぱいな今」の真っ最中です。
生まれたばかりの赤子も、明日死ぬ予定の人も「今」の重みは一緒です。

「かたつむり どこで死んでも 我が家かな」（小林一茶）
いつどこで死んでも仏さまの大いなる家の中であることに安心しつつ
死を迎える瞬間まで「今」を黙々と重ねたいものです。

衣替の季節

衣替えの季節を迎えました。お寺では本堂の柱巻きを冬用から夏用に替え、和尚様の衣も文字通り衣替えします。クチナシの香りに癒される日々、いかがお過ごしでしょうか。

子どもに絵本を読み聞かせていると、野菜を題材にしたものと出会います。野菜嫌いにならないようにせつせと読んではいませんが、思い返せば自分もミートスパゲティに散らされたパセリが嫌いだったなあと苦笑したりしています。パセリは野菜の中でも群を抜いて栄養価が高いものの、主に揚げ物やお刺身の彩りに使われ、その9割近くは手付かずのまま捨てられているそうです。やはりあのほろ苦い香りがゆえでしょうか。

「全部いただく えり食いはせぬ」

これは澤木興道老師の言葉ですが、食べ物なら全部いただくだけでも、人生というお皿に盛られたものとなると難しくなります。病気や仕事の失敗、家族の不幸、お金の困窮、こんな素材はパセリのようにお皿からはじき出しなくなり。「交通安全」「家内安全」「身体健康」「小出しに単品メニューを頼む自分に比べ、」
「お母さんにおまかせコースメニュー」を悠々と頼み、見事に完食している赤子を見ていると、頭が下がる思いがします。

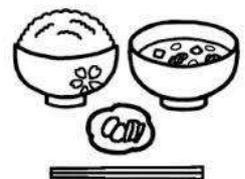
好き嫌いせず「仏様に全部おまかせメニュー」を頼み、人生の幸不幸全部いただく心を絵本を通して子どもに教えられる日々です。

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味 ♪

夏に向けて作る 疲れ知らずの梅ジュース

- ① ビンをしっかり熱湯消毒し、アルコールをふくませた布巾で拭く。
- ② 青梅のヘタをとりサッと洗って布巾で水分をきちんと拭き取る。
- ③ ビンの中へ梅 300g と氷砂糖 300g を交互に入れて、お酢 30cc 入れる。
- ④ ビンのふたをしたら上下左右しっかり振って、お酢を全体に行き渡らせる。
- ⑤ そのまま冷暗所に置き、時々ピンを振り、1か月後ぐらいに梅を取り出し冷蔵庫で保管する。



1ℓのピンに作ると出来上がりは500mlくらいです。今年は梅の花が咲いた後冷え込んだので梅の実が結構落ちてしまいました。梅干しも梅ジュースも例年より少なめになりそうです。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

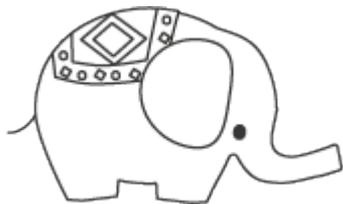
初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

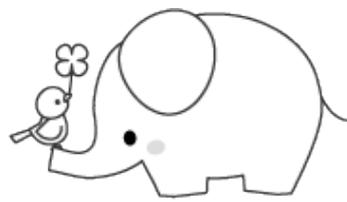
6月26日(日) 一回 500円
(朝8時~9時) (内300円は義援金)
要申込

5月写経会 備忘録

まだ5月にもかかわらず夏日となった日曜日。境内ではヤマボウシが満開を迎えました。今回は落語「粗忽釘」を皆さんと一緒に楽しみました。落語はあらずしを聞いているだけでも面白いですが、その奥に隠された仏教の教えに気付くと、より深みが増します。今日は山でたくさん破竹が採れたのでお土産に差し上げました。



大智寺の本尊様に見守られつつ、
故人の新たな一步を本堂からお見送りする
そんな一般葬を希望される方々へ



本堂を会場に営む 一般葬
あれこれ

5 通夜

お寺ではお通夜の日の午後から会場設営が始まります。
花屋さんがきて花祭壇を組んだり、供花や供物の数を見て配置を決めます。
本堂に補助シートを敷き詰め、お客様用の椅子を並べます。
親族用・一般会葬者用の焼香台が配置され、弔問受付台に金庫や帳簿、香典返しが準備されます。
通夜ふるまいがある場合には、庫裏にて長机を用意し、食事到着次第配膳が始まります。

故人が病院から自宅へ一度帰られている場合は、
納棺後葬儀社の手配する寝台車にてお寺へいらっしゃることとなります。
寝台車の費用はタクシーと同じで距離によって法律で決められています。

設営が整った本堂に、遅くとも4~5時頃お棺をお迎えすると
いよいよ夕刻6時または7時頃からお通夜が営まれます。
早めにいらっしゃるお客様のためにも、
故人の代役として式を執り行う喪主は、あまり立ち歩かず
お棺のそばで静かにお通夜の刻限を待ちます。



ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、
ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、
その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。
必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、
葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めて
まずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円~
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方が
いなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒に
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。
永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから
「完全個別永代供養墓」といいます。
詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、
ご予約の上 ご来山ください。